

◆わくわく子ども里山キャンプ  
~みどり森の七不思議を探せ!~

みどり森でわくわくどきどきの1泊2日。キャンプ生活はもちろん、今年のみどり森の七不思議を協力して探し出します!

日時: 7月29・30日(水・木) 10:00~翌15:00  
対象: 小学3年生以上 定員: 20名  
参加費: 9000円  
要申込: 6月29日~7月11日まで受付(抽選)

◆親子はじめての自然観察  
~夜の生きもの観察会~

親子向けの観察会です。夜のみどり森で、生きものたちを観察。夜の森にはたくさんの驚き!が待っています。

日時: 8月8日(土) 17:00~20:00  
対象: 小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員: 20名  
参加費: 100円  
要申込: 7月8日より受付開始

◆大人の自然観察会

初心者の方の大人向け観察会です。その季節折々に見られる動植物を観察します。自然の営みを再発見!

日時: 8月9日(日) 9:30~12:00  
対象: 中学生以上 定員: 20名 参加費: 100円  
要申込: 7月9日より受付開始

20周年記念イベント

◆里山の手入れと植物染め体験

管理作業を体験し、作業によって発生した植物を使って染物に挑戦します!夏休みの宿題にもピッタリ?!

日時: 8月23日(日) 10:00~15:00  
対象: 小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員: 20名  
参加費: 500円(保険代・材料費)  
要申込: 7月23日より受付開始

「みどり森週末ガイドウォーク」実施中! ★参加費無料/当日案内所にて受付(定員になり次第、締切)

事前申込みの必要なイベント以外に、下記日程で当日募集型のガイドウォークを実施中(定員は各回15名、年齢制限はありません)。案内所や大谷戸湿地周辺をスタッフがご案内します。内容は毎回変わりますので、どんなテーマか?当日までお楽しみに!

【7~9月のガイドウォーク実施日】

7月12日(日)、7月25日(土)、8月9日(日)、8月22日(土)、9月13日(日)、9月26日(土)  
実施時間: (土曜日) 13:00~14:00 (日曜日) 11:00~12:00 ※曜日により実施時間が異なりますのでご注意ください

博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

発行: さいたま緑の森博物館  
発行年月: 2015年7月  
住所: 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
TEL/FAX: 04-2934-4396

◆里山体験教室・特別編  
池のかいぼりをしよう!

ため池の水を抜いて、生きものたちを救出(調査)した後に泥を取り除く「かいぼり」を体験します。

日時: 9月12日(土) 10:00~12:30  
対象: 小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定員: 20名  
参加費: 100円(保険代)  
要申込: 8月12日より受付開始(先着順)

◆みどり森「里山ようちえん」

幼児期に親子で里山の自然との触れ合いや野外遊びを目的とした、自然体験型の森のようちえんです。子どもの成長段階や好奇心に合わせて実施します。お弁当持参。

【カエル組】

日時: 9月27日(日) 10:00~13:30  
対象: 4/1の時点で満4~5歳の未就学児と保護者  
定員: 20名  
参加費: 親子2名1000円(保険代・材料代)  
要申込: 8月27日より受付開始

【オタマ組】

日時: 9月30日(水) 10:00~13:30  
対象: 4/1の時点で満2~3歳の未就学児と保護者  
定員: 20名  
参加費: 親子2名1000円(保険代・材料代)  
要申込: 8月30日から受付開始

★イベントのお問合せ・申し込み★

電話(TEL 04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからお申し込みできます。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問合せください。みなさんの申込みをお待ちしております!

◆アクセス◆

★公共交通機関をご利用の場合★  
小手指駅南口より西武バス  
「宮寺西」または「金子駅入口」 行き乗車、約25分  
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

★案内所までの地図★

右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)



★ご来館時のお願い★  
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。特に緑の森フェスタ期間は、公共交通機関のご利用をお願いします。

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】  
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)  
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>  
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

おかげさまで開館20周年を迎えました!

さいたま緑の森博物館は、平成27年7月1日に開館20周年を迎えました。

20周年を記念し、展示室では特別展『みどり森のカコイマ・ミライ展』を7月1日~8月30日まで開催中です。

みどり森の過去と今を知っていただき、これからの未来をみなさんと考える展示です。お見逃しなく!

また、8月には20周年記念イベント「林の手入れと雑木林の恵みで植物染め」、11月には「緑の森フェスタ」なども開催しますので、是非ともご参加ください。

~今号のニュースレターは?~

長い梅雨と共に、ヒメザゼンソウの花が終わるといよいよ夏の到来。夏は生きものも活発に動き出す季節。

今号では、普段見られない夜の森の生きものをご紹介します。カブトムシやクワガタだけでなく、あまりみなさんに知られていない樹液に集まる生きものをご紹介します。



ツリフネソウ

みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館のテーマである雑木林や湿地などについて、毎号キーワードを挙げて紹介しています。

今回は、みどり森周辺でもかつて行われていた「養蚕」についての特集です。

その14 養蚕

蚕(カイコ)が繭を作るときに吐き出す繊維は、絹やシルクと呼ばれ、丈夫で軽く、光沢のある美しい絹は貴重でありその繭は高値で取引されました。歴史は古く、古代中国までさかのぼるとされます。(シルクロードは文字通り、絹の貿易の道です。)入間市・所沢市でも蚕の餌となる桑畑が点々と残っておりかつて養蚕が行われていたことが伺えます。白く美しい糸を吐き、体も白いカイコは神秘的な存在であるとともに、農家にとって貴重な現金収入源でもありました。そんなカイコは「お蚕さま」と呼ばれ、大切に育てられていました。

【蚕は大切!最優先】

養蚕を営む農家では、蚕が人間より優先されました。蚕が蛹になるときは、まぶしと呼ばれる椀に頭すつ入るように気を配り、風通しが良い居間などのスペースにまぶしが置かれ、家の中すべてが蚕のために使われました。また所沢のお盆は八月十五日頃ですが、養蚕のために前後する場合もありました。

みどり森では...

実は、試験的にスタッフの机の上で飼育しています。案内所が休みの日はスタッフの家まで連れて帰り世話をしていきます。バケツ一杯の桑の葉が一時でなくなり食欲にびっくり。繭は、夏のイベント「管理作業と染物体験」で使う予定です。

# 闇に集う 影の主役たち!

夏の夜の森の人気者といえば樹液に集まるカブトムシやクワガタですが…実は他にもたくさんの虫たちが樹液に集まっているのをご存知ですか? 今号では、あまり知られていない夜の昆虫たちをご紹介します。

キラッと光る夜のエメラルド  
**アカアシオオオカミキリ**(体長: 15~30mm)  
夜間クヌギの大木の幹を歩き回る。  
樹液をなめるほか、パートナーを探していると言われている。  
脚が赤く、翅は青(緑)色であるが、赤なのか? 青なのか? こんがらがりやすいカミキリムシ。

森の戦隊ヒーロー? キシタバ類!  
**シロシタバ** (翅を開いた大きさ: 95~105mm)  
大型種、前翅は灰白色。  
木に生える苔のような模様で木の幹にそっくり。  
下の翅の色が白色なのでシロシタバ。  
**キシタバ** (翅を開いた大きさ: 70~75mm)  
下の翅の色は黄色。  
他にも下の翅が紅色のベニシタバなどがいる。

においで誘ってかぶりつき!  
**ボクトウガ(幼虫)** (体長: 45mm)  
実は樹液を出させている犯人のひとり。  
大きなアゴで木の幹をガジガジ…。  
樹液に寄ってくる虫をそのアゴで捕まえて食べる。  
甘い罠で獲物を捕まえる夜の森の戦略家。

こんなところにも暮らしています  
**ゴキブリの仲間**  
樹液の出ている木を照らすとたくさん!!  
なんてこともあるゴキブリの仲間。  
中でも、モリチャバナゴキブリは小さく透明感があり、森の中では死骸や朽木を分解する大切なお掃除屋さん。

とってもスレンダー  
**ホシアシナガセバエ** (体長: 8~10mm)  
樹液に集まるハエの仲間。  
翅脈(翅のスジ)上に黒い点がある。  
細々と端っこで樹液をなめている。

## 夜の森に観察に行くときのやくそく

- ①必ず大人の人と一緒にいこう!!
- ②夜の森は真っ暗! 明るいうちに下見をしよう!!
- ③人と自然にやさしく!  
・木を傷付けないように観察する。  
・近所の人に迷惑をかけないように「静かに」観察する。  
・私有地や園路以外の場所には入らない。

★みどり森では自然が展示物、生きものは観察したら、いた場所に逃がしてくださいね★

その名の通り…  
**コロギス** (体長: 約30mm)  
コオロギのような翅をもち、キリギリスのような黄緑色の外見。  
発音器を持たないため、鳴くことはできず、足で地面をたたいて音を出す。  
広葉樹林内にすみ、樹液に来る虫を捕まえて食べる。  
鳴かないため、見つけることが難しい  
会えたらラッキー!?

あっ!! クワガ…  
**ヨツボシケシキスイ** (体長: 7~14mm)  
クヌギなどの樹液に集まる。  
アゴをもち、オス同士で争ったりもする。  
一見クワガタに似ているが、背中の赤い4つの星がトレードマーク。  
スタッフもたまにクワガタと間違える。

長い脚で高くジャンプ!!  
**マダラカマドウマ** (体長: 20~34mm)  
大型であるが模様には個体差がある。  
林床にすみ、昼間は木のうろなどの暗がりに入り、集団になることが多い。  
なぜかよく人に向かってジャンプしてくることが多く悲鳴をあげる人も多い。

## 招かれざる夜のハンター

夜の樹液は、多くの虫にとって食事や出会いの場になっています。  
毎晩行われるこのパーティーには、虫たち以外の生きものも集まります。大型の昆虫を食べるアオバズクやカラス、そして、樹液を見に来る人間です。  
ただ観察するだけではなく、生きものを家に連れ帰ったり、つかまえるために木を傷つける人もいます。木が弱って危険な場合は、残念ながら切り倒すしかなくなってしまいます。  
そうならないようにルールは守って観察してくださいね!

夜の生きものに興味はあるけれどコワイ…。  
もっといろいろな話を聞きたい!!  
という方は観察会に参加しよう!

『親子はじめての自然観察  
～夜の生きもの観察会～』  
日時: 8月8日(土) 17時~20時

☆このイベントは申込みが必要です。  
詳しくはイベント情報欄をチェック! ☆